

# 県内経済の動き (2017年11月)

## 基調判断 緩やかに持ち直している

製造業	→	一部弱含み	公共工事	→	持ち直している
大型小売店販売動向	→	横ばいの動き	観光	→	弱含み
乗用車販売動向	→	着実に回復	雇用	→	高水準で推移
住宅着工	→	横ばいの動き	企業倒産	→	低水準が続く

[直近の3カ月の変化の方向] → 上向き    → 横ばい    → 下向き

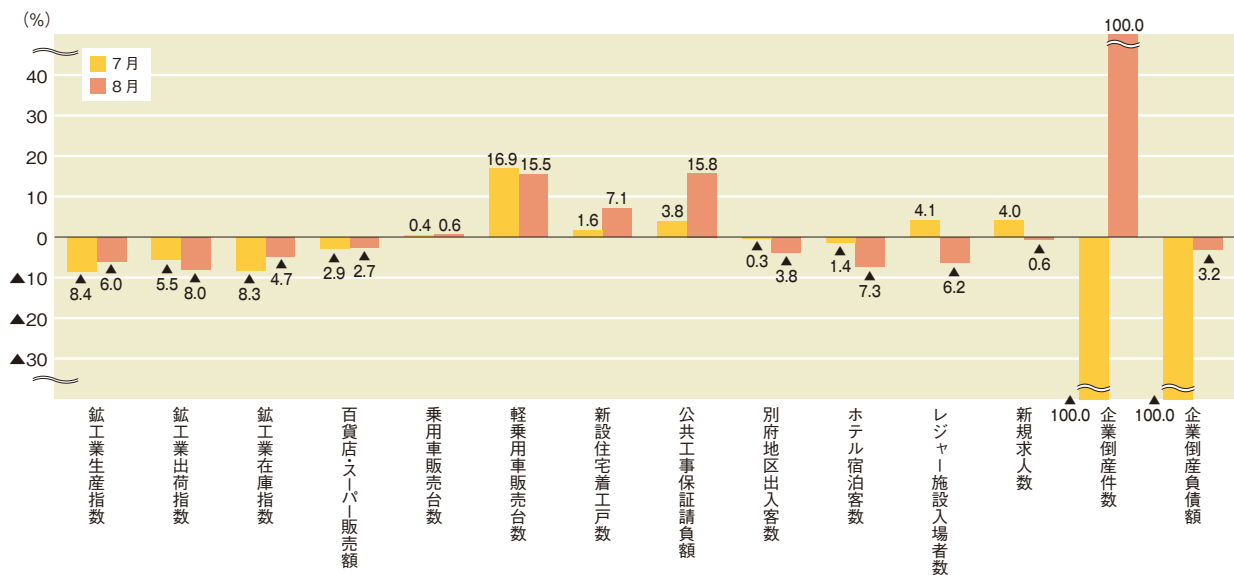
注) 1. 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店(家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター)の販売動向

## 大分県の主要経済指標の動き

	2016.8	9	10	11	12	2017.1	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産指数	○	●	●	○	△	●	●	●	●	○	●	●	●
百貨店・スーパー販売額	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
乗用車販売台数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽乗用車販売台数	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○
新設住宅着工戸数	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	●	○	○
公共工事保証請負額	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
別府地区出入客数	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●
ホテル宿泊客数	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	●	●
レジャー施設入場者数	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○
新規求人数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
企業倒産件数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	●
企業倒産負債額	●	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○
プラス指標の割合	58.3	50.0	58.3	66.7	75.0	66.7	58.3	50.0	83.3	75.0	66.7	66.7	41.7

注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化  
 2. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分  
 3. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計  
 4. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

## 県内主要経済指標 (7月・8月分の前年同月比)

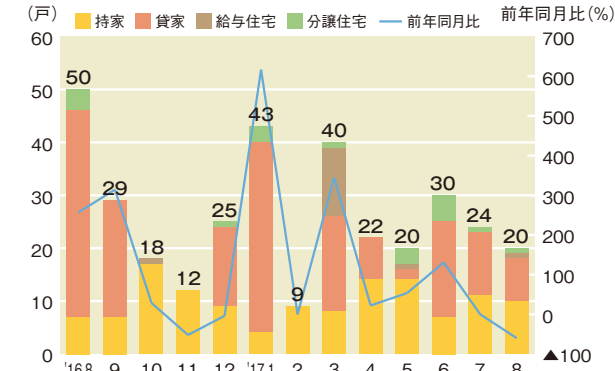


注) 1. ホテルは県内主要宿泊施設の計、レジャー施設は別府および隣接地区の計  
 2. 別府地区出入客数はJR別府駅、大分空港乗降客数、別府IC乗降車数計

# ● 由布地区の経済指標

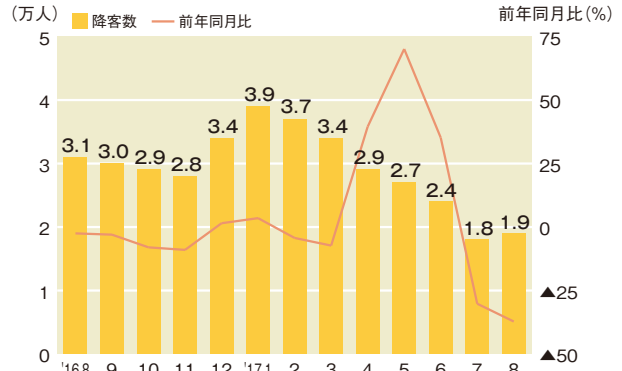
由布市の新設住宅着工戸数は、2017年6月から8月までの3ヵ月間の累計で74戸と、前年同期比13戸減少しました。また、同期間の由布院駅降客数は前年同期比17.7%減の約6万人となりました。4月から6月は昨年の熊本地震発生直後の落ち込みの反動で増加しましたが、7月以降は九州北部豪雨の影響がみられています。

新設住宅着工戸数



資料) 国土交通省「住宅着工統計」

由布院駅降客数



資料) JR由布院駅

# ● 県内企業の景況意識調査 (2017年7~9月期)

## 2期ぶりに悪化するも来期は改善見通し

【今期】今期(2017年7~9月期<Ⅲ期>)の業況判断BSIは、前期比6.7ポイント低下の▲11.7となりました。

BSIの内訳をみると、「よくなった」と回答した企業は前期比0.5ポイント減の11.7%、「悪くなった」は同6.2ポイント増の23.4%、「変わらない」は同5.6ポイント減の65.0%となりました。

業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『サービス業』の3業種で悪化しました。とくに『サービス業』の悪化幅が大きく、観光関連企業を中心に九州北部豪雨の影響を受けたものとみられます。

【来期】来期(2017年10~12月期<Ⅳ期>)の業況判断BSIは、今期比14.5ポイント上昇の+2.8と、

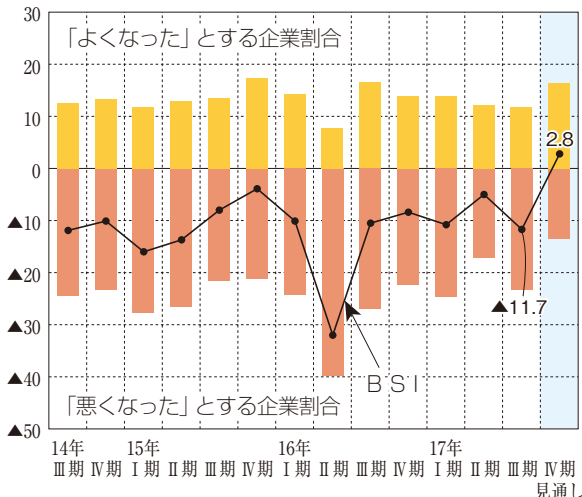
プラス水準となる見通しです。

BSIの内訳をみると、「よくなる」と回答した企業は今期比4.7ポイント増の16.4%、「悪くなる」は同9.8ポイント減の13.6%、「変わらない」は同5.1ポイント増の70.1%となる見通しです。

業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善する見通しです。

今期の業況判断BSIは2期ぶりの悪化となったものの、県内経済が持ち直し基調にあることや、観光面では九州北部豪雨発生直後の落ち込みからの回復が予想されることなどから、来期の業況判断BSIはプラス水準に改善する見通しです。

業況判断(BSI)



業況判断指数内訳(BSI)

	2017年Ⅰ期	2017年Ⅱ期	2017年Ⅲ期	2017年Ⅳ期見通し
鉱業	0.0	0.0	100.0	0.0
建設業	9.1	3.5	7.2	▲3.6
製造業	▲7.5	▲10.3	▲14.2	10.0
卸・小売業	▲17.2	▲14.7	▲16.9	▲10.1
金融・不動産業	▲22.2	▲14.3	0.0	0.0
運輸業	▲13.4	5.9	6.2	6.3
サービス業	▲18.2	10.5	▲25.7	14.3
全産業	▲10.8	▲5.0	▲11.7	2.8

\*BSI (Business Survey Index) とは、企業経営者の業況に関する判断等を「よくなる・よくなった」、「変わらない」、「悪くなる・悪くなった」という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものです。BSIは次の数式で求められます。①(よくなる)+(変わらない)+(悪くなる)=100%とします。②(変わらない)の回答分を除きます。③BSI=(よくなる)-(悪くなる)で計算します。BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をします。